

「患者・市民の参画」(PPI)をもっと身近に

患者の声をアレルギー対策に 生かす取り組みを考える懇談会



ゲスト:

厚生労働省
医政局地域医療計画課長
西嶋 康浩氏

(西嶋 康浩氏 略歴) 2002年、山口大学医学部卒。2003年厚生労働省入省。2012年8月より健康局疾病対策課長補佐として難病法成立に携わったほか、アレルギーなど各種疾病対策を担当した。2020年8月から岡山県保健福祉部長。2023年5月に健康局がん・疾病対策課長(がん、循環器、アレルギーなど疾病対策担当)、2024年7月に医政局医事課長、2025年7月からは医政局地域医療計画課長を務める。「患者・市民の参画」(PPI)についても講演活動を行っている。

令和8年
9/6 日
10:00-12:00

会場 横浜情報文化センター
ホール (情文ホール)

横浜市中区日本大通11
みなとみらい線「日本大通り駅」3番 情文センター口直結

参加費 無料
定員 先着50名

お申し込みは
こちら→
8月1日(土)~
(定員に達し次第
締め切り)



医療分野における「患者・市民の参画」(PPI: Patient and Public Involvement)という言葉をご存知でしょうか。

研究や臨床試験に患者や家族、市民の経験や意見を反映させ医療の専門家とともに進めていく取り組みであり、最近では医療政策の全般において意思決定の場に患者・市民の関与を求めるという考え方に広がっています。

アレルギーの病気は医療だけでなく、生活に関わる幅広いサポートが必要な疾患です。「患者が抱える課題を最もよく知るのは患者自身」です。患者や保護者の意見や提案を国や自治体の施策に生かす取り組みについて考える懇談会です。各地で活動する患者会の皆様や関心がある方の参加をお待ちしています。

プログラム

● オープニングの報告

NPO法人アレルギーを考える母の会 代表 園部 まり子
「アレルギーを治したい! 夜間救急で知り合った
母親10人で活動を始める」

● ゲストのお話

厚生労働省 医政局地域医療計画課長 西嶋 康浩氏
「医療政策の決定プロセスに患者・市民の声を届ける
方法を知る」

● 参加者で意見交換



主催 NPO法人アレルギーを考える母の会

<問い合わせ>アレルギーを考える母の会HP「問い合わせ」からメールで

後援: 厚生労働省、神奈川県

ニッポンハム食の未来財団・地域づくり団体全国協議会助成事業